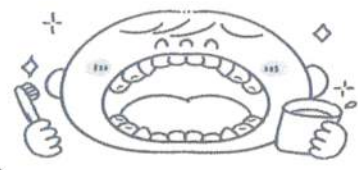




令和6年度 6月 江上保育園 ほけんだより

乳幼児期からの 歯のケア



●乳歯のうちから虫歯予防

乳歯は、個人差はありますが、生後5～9カ月頃から生え始め、3歳ころまでに生えそろういます。そして、約10年間使います。その間、乳歯は、食べ物をかむこと、正しい発音で言葉を話すこと、永久歯を正しく生える場所へ導くという大切な役割を担っています。こうした大切な働きをする乳歯が虫歯にならないように、歯磨きの習慣を身につけることが大切です。乳幼児期は口の感覚が敏感なため、子どもの唇や歯肉を触るなどして、徐々に歯ブラシの感触に慣らしていくようにします。

●保護者の仕上げみがきが大切です



虫歯予防のためには、保護者による毎日の仕上げみがきが大切です。3歳くらいになると、自分で歯みがきをしますが、細かいところまでは磨けていません。

特に寝る前に仕上げみがきをすることは、予防のうえからも大切です。寝ている時は、唾液の分泌が少なくなるため、虫歯になりやすくなります。虫歯になりやすい部分を中心に仕上げみがきを行いましょう。

参考文献：ほけんニュース2022.2023.6月号



消費者安全調査委員会イラスト集より

歯みがき中の 歯ブラシのど突き事故に注意

子どもが歯磨き中に転んで、歯ブラシをのどや頬に突き刺してしまう、歯ブラシによるのど突き事故が発生しています。特に1、2歳で多く報告されています。歯ブラシを口に入れたまま、転倒、転落、ぶつかることが要因となっています。

喉の近くには大きな血管や神経があり、それらを傷つけてしまったり、口の中の雑菌により感染症をおこすことも考えられます。以下のことに気をつけましょう。

- 保護者がそばで見守る中で、床に座って歯みがきをさせましょう。
- 子ども用歯ブラシを使用しましょう。のど突き防止対策のされた歯ブラシもあります。
- 周りにコードやクッションなど転倒の原因になりやすいものは置かないようにしましょう。
- 日頃から細長いものを口に入れたまま、持ったまま動くことはやめさせましょう。



ぎょう虫・尿検査のお願い

●ぎょう虫検査（全園児対象）
6月10・11日の朝検査をし、11日（火）に提出してください。検体は6月7日（金）に配布します。

●尿検査（きく・さくら・もも組対象）
6月25日の朝1番の尿を採り、25日（火）に提出して下さい。検体は6月24日（月）に配布します。
検体配布日に休み予定の方は担任にお知らせください。

歯科健診のご案内

6月20日（木） きく・さくら・ひばり1・2組

6月28日（金） もも・ひな組

